

# 令和5年度

## 足立区避難所運営会議 本部長・庶務部長会議 議事録

### 1 開催日時等

回	日程	会議時間	開催場所
第1回	4月20日(木)	午前10時00分～11時30分	庁舎ホール
第2回		午後2時00分～3時30分	

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2回に分けて開催

### 2 参加者

各避難所運営会議の本部長、庶務部長など 156名(区出席者等を除く)

### 3 会議次第 (司会:防災力強化担当課長) ※ いずれの回も同一内容で開催

	次第	備考
1	出席者紹介	
2	開会挨拶	区長
3	区の被害想定と災害対策の強化について	説明者:危機管理部長
4	震災時の避難所運営手順書について	説明者:災害対策課長
5	避難所運営訓練の実施について	説明者:災害対策課長
6	質疑応答	
7	閉会	

### 4 意見交換・質疑応答 ※ 開催回・発言順で掲載

#### (1) 4月20日(木) 午前10時00分～ 第1回会議

	質問・意見主旨	回答者	回答内容
1	水害時、1階に置いてある物資は浸水してしまうため、上に運ぶ必要がある。その物資は誰がどう運ぶのか。運営会議のメンバーは高齢者である。	災害対策課長 危機管理部長	いざ災害となった際には備蓄倉庫から空き教室等に人力で運ぶしかない。事前に上にあげる作業は個々の状況により対応させていただく。 職員が先導を切って動くが、避難所運営会議のメンバー、学校関係者等の協力も必要になる。事前の避難所運営会議の方で確認させていただく。

	質問・意見主旨	回答者	回答内容
2	すぐに避難所開設ができるよう、学校の鍵を近隣の住民に預けられないか。	災害対策課長	紛失盗難等、防犯上、住民の方に学校の鍵は預けられない。
3	一般参加者を集めてくださいとあるが、ポスター掲示・チラシ配布以外に何ができるか。集めるためのノウハウを教えてください。	災害対策課長 区長	訓練参加者等に簡易トイレの配布を行っていく。それをきっかけに防災意識を持っていただくことも重要かと思う。 大勢の方の関心を寄せる方法は大変なことかと思う。しかし、学校から生徒へ参加を呼び掛ける、SNSを使って訓練の様子を撮影し、情報発信をしていく等、一人でも多くの参加を呼び掛ける仕組みを考えていきたい。
4	避難訓練の開催の時期だが、高齢者集まってやるには熱中症等のリスクが出てくる。訓練をやる時期についてはどうお考えか。	災害対策課長	開催時期については、必ずこの時期にやってくださいという指定はない。秋の時期（台風）がくるまでの早い段階で水害時の訓練、それ以降は震災時の訓練という形で考えて頂ければと思う。
5	昨年、秋の定例会で総合防災対策室長が足立区の避難者数169,000人、1人あたりのスペース1.65㎡と仰っていた。そこで、各避難所の割当人数どうなっているか。また、1人あたり1.65㎡は十分な広さなのか。	区長 災害対策課長	確認のうえ、回答する。 コロナの関係で4㎡のスペースを取るものもある。数字の部分については検討させていただく。
6	千寿地域にはスーパー堤防、カミソリ堤防がある。越水時50,000㎡の排水が必要になる。排水するためのポンプが117あるが、それだけで対応できるか。	危機管理部長	確認のうえ、回答する。
7	震災時の避難所運営本部の開設について、区の方で判断してもらえないか。細かい基準についても教えてください。	災害対策課長	開設の判断については、それぞれの地域で状況が異なる。被害の状況、避難者の有無等で判断いただきたい。 地震がどのタイミングで起きるかにもよる。職員が働いている昼間の時間帯であれば、情報発信することは可能かと思う。 具体的な内容についてはもう少し詰めていきたい。

	質問・意見主旨	回答者	回答内容
8	プライベートテント、マンホールトイレは人数分配備されているか。予備分はあるかないか。	区長	プライベートテントは、トイレ用ではなく、個室を作るためのテントである。マンホールトイレは設置カ所分配備している。
9	マンション等の高い場所に住んでいる避難する必要がない人が避難してきて満員になってしまう恐れがある。平屋に住んでいる人との住み分けが必要になるかと思う。	災害対策課長  区長	区として分散避難を推奨している。また、高い場所に住んでいる方はその場所に留まっていただく、遠方の親戚の家に避難していただくなどの啓発を続けていく。  避難してくださいという人と全ての人が避難し兼ねない。住んでいる場所の浸水深の確認を情報発信していく。広報にも漫画でわかりやすく浸水深について掲載する予定である。
10	震災時の手順書Ⅱ部については、作成中か。受付の場所等は運営の混乱を招かないよう水害時の類似の形で作っていただけると助かる。  プライベートテント、マンホールトイレはそれぞれの避難所に配備されている認識でよいか。	災害対策課長	現在作成中であり、皆様へ6月末を目途に素案をお示しし、今年度中の完成を予定している。現場で混乱を招かないよう作成していく。  プライベートテントは1～2個、マンホールトイレは各設置数を配備している。
11	本日まで説明のあった、区の被害想定と災害対策の強化について、各町会・自治会へも早めに情報提供してほしい。	危機管理部長	あだち広報やチラシの作成等で区民へ周知を行っている。特に助成金については時限的なものであるため、より多くの区民へ周知できるよう仕組みを考えていく。
12	事前防災行動計画を策定している地域が何か所かあるが、コミュニティタイムラインを作成する際の助成金は貰えるのか。	調整担当課長  区長	現時点では助成金はない。荒川に近い地域でコミュニティタイムラインを作成している中で各町会・自治会でも作成できるよう手引きを作成する予定である。手引き完成後は区HPに掲載し、策定を進めていきたい。  今後、少しでも多くの町会・自治会に作成いただけるよう、どのような支援が必要かどうかもご意見もお寄せいただきたい。

	質問・意見主旨	回答者	回答内容
13	昨年度、東京都から災害啓発事業として最大 20 万円の助成が出るということで、活用し、簡易トイレを各家庭に配った。足立区も災害啓発に関する助成はないか。	地域調整課長  区長	東京都の事業は 100 団体近く活用された。昨年度限りの事業であれば、区の方でも何かできないか検討していく。  東京都が今年度も継続していくということであれば改めて周知していく。昨年度限りの事業であれば、区として同様の形での助成を検討する。その際は、より使い勝手の良いものにしていくためご意見お寄せいただきたい。
14	水害時・震災時、両方とも災害対策課の方で開設の指示をしていただけないか。地域内でも開設する場所と開設しない場所が出てきて一方に集中してしまうのではないか。	災害対策課長	震災時は、水害時と異なり、いつ発災するか不明なため、原則として、各地域の被害状況によって開設の判断をいただきたい。 日中であって、区職員も被害状況がある程度把握ができれば開設に向けて働きかけは可能かと思うので検討していく。

#### 4 意見交換・質疑応答 ※ 開催日・発言順で掲載

##### (1) 4月20日(木) 午後2時00分～ 第2回会議

	質問・意見主旨	回答者	回答内容
1	浸水深表示の件だが、どこの場所からの高さで表示しているのか。	調整担当課長	道路面からの高さ 50 センチ単位で表示している。よって数 10 センチのズレは生じてしまう。
2	水害時の避難所開設は区職員が来ると認識しているが、震災時には区職員はこないのか。	災害対策課長	震災時は、各避難所運営本部にて開設をしていただく。区職員については、巡回という形で各避難所に出向くことは可能かと思う。
3	当避難所運営本部では、グループ LINE で連絡を取り合っている。今後、公式 LINE アカウントにて避難所単位で避難所開設に係る情報を流したい。お金がかかることなので区からの補助は無いのか。避難所運営本部でチラシを作成したりもしているが、補助がないため、自腹を切っている状況である。	災害対策課長  区長	防災アプリで避難所開設の状況等をご覧いただけるようになっている。  区の独自助成については、6月予算に組込めるかどうか検討していく。

	質問・意見主旨	回答者	回答内容
4	自治会内で独居の老人が多い。近隣にも高層の住居が多く建設されている。いざという時に備えて高層の住居へ移転の支援等ができないか。	危機管理部長	高層の住居へ引越しさせるということまでは難しい。今住んでいる住居に耐震の助成制度等で支援をしていきたい。
5	水害の浸水表示根拠が不明である。何ミリ降雨があっいつの時間に何m浸水する等シュミレーションを行ったうえで示してほしい。雨量や 5m浸水するなどの表示を見てしまうと恐怖に駆られて避難所に人が殺到してしまうのではないか。	危機管理部長	国のデータを基に作成している。過去と比べて河川の幅や流域が変わっているため、現在のデータを見て表示している。
6	災害時はスマホで情報収集するため充電設備が重要になる。発電機はガソリンを使うため危険である。よって、EVなど給電機を入れてもらいたい。	危機管理部長	避難している皆様が十分に給電できるよう、課題として検討していく。
7	当避難所の組織図では欄外に防災士がいる。防災士の役割が不明瞭である。組織に組み込むべきであるし、防災士も本部長・庶務部長会議に呼ぶべきでは。	災害対策課長  区長	区でも多くの方の防災士取得を進めている。防災士の専門的な知見は非常に重要になってくる。防災士の位置付けについては訓練等を通じて、打ち出していきたい。  手順書内の、避難所運営本部の体制で、本部長・庶務部長の次に防災士等を入れ込んでいる。すべての避難所に防災士がいる訳でないが、次の会議からお声をさせていただきます。
8	時期により、校長変更などで、入れる教室と入れない教室が変わることがある。防災倉庫の位置が変わっていたりする。区の方で調整いただくのか、訓練時に調整するのか事前に把握しておきたい。	区長	台風19号時には校長に連絡がつかない学校もあった。以降は、避難所に駆けつけてもらう学校職員の名簿もある。年度で校長先生が変わることがあるため、年度当初に校長会でお話をさせていただいている。学校との調整は基本的には区の方で対応する。訓練等を通じて学校との関係を構築していただき、細かい部分などは調整いただければと思う。

	質問・意見主旨	回答者	回答内容
9	せっかく訓練に来られた方には、お茶やお菓子等なにか持って帰れるものを出してもよいのでは。	災害対策課長  区長	訓練終了時にアルファ化米やクラッカーなどの備蓄物品を渡している。簡易トイレの備蓄も進めているため、お配りしていきたい。  どの程度のものまで購入してお渡しできるかについて検討していく。こんなものが欲しいというご要望もいただきたい。
10	備蓄は限られた人のみしかないということだが、大勢の避難者が駆け込んできたらどうするか。受け入れの優先順位があるのか。	区長	水害と震災で異なってくるかと思う。水害は、まず浸水する場所かどうかを確認のうえ、避難の必要有無を確認していただきたい。 震災は、建物の状態等を見て避難の必要有無を判断したり、高齢者等の災害弱者が優先となってくる。 備蓄は長期化した場合のみお配りしており、各自2食分はお持ちいただくよう周知している。 避難所はホテルではないが、備蓄の内容はこれからも充実させていく。
11	学校を新設する考え方について、令和元年台風19号以降に完成した学校でも1階に体育館を配置するのはいかがか。多くの方が乗降できるよう、エレベータも今よりも大きなものを作る。トイレがどうしても足りなくなるため、屋上にも仮設トイレを作るなど、災害に対応した設計をしていただきたい。	区長	学校だけでなく、新しく建てる公共施設についても、その場所の浸水深を意識して設計している。また、学校は多くの方が滞在できるよう廊下を広くとっている。トイレの数の問題は今後の設計に活かしていく。